

# News Release



この資料は BASF が 2017 年 12 月 5 日に米国で発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

## BASF の Ultramid<sup>®</sup> が米国プラスチック技術者協会のオートモーティブ・イノベーション・アワードを受賞

BASF (本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン) は、米国プラスチック技術者協会 (Society of Plastics Engineers<sup>®</sup> 以下 SPE) 主催の第 47 回 SPE インターナショナル・オートモーティブ・イノベーション・アワードで、Hutchinson Antivibration Systems 社 (以下 Hutchinson 社)、およびゼネラルモーターズ社 (以下 GM) とともに、「シャーシ/ハードウェア部門賞」を共同受賞しました。

今回の受賞は、BASF の Ultramid<sup>®</sup> の革新的な利用によって、騒音・振動・ハーシュネス (NVH) を改善する、軽量のパワートレイン取り付けクレビスブラケットの開発が認められたものです。GM 用のブラケットソリューションの製造と性能において、Hutchinson 社は構造用プラスチックの新たな機能仕様と、BASF のポリアミドに関する専門知識を組み合わせました。キャデラック XT5 など、GM の新たな中型 SUV プラットフォームに使用するブラケットを設計するにあたり、BASF はガラス繊維ポリアミドである Ultramid<sup>®</sup> A3WG10 CR を使用しました。これにより振動伝達率を含む機能要件、最大/最小負荷を満たす強度、疲労要件、そしてアセンブリにおいてより柔軟な接合条件を実現する最大摂氏 100 度の性能を保持できます。

今回 Hutchinson 社は Ultramid<sup>®</sup> を使用して、様々なパワートレインやプラットフォームの組み合わせに利用できる、7 つのクレビスブラケットを開発しました。同ブラケットは標準的なダイカストのアルミニウム設計と比べ、

2018 年 1 月 26 日

お問い合わせ:  
BASF ジャパン株式会社  
コーポレート・アフェアーズ本部  
大埜 雅俊  
TEL: 03-3796-9886  
FAX: 03-3796-4111  
[masatoshi.ohatao@basf.com](mailto:masatoshi.ohatao@basf.com)

馬込 綾子  
TEL: 03-3796-4867  
FAX: 03-3796-4111  
[ayako.magome@basf.com](mailto:ayako.magome@basf.com)

BASF ジャパン株式会社  
住所: 〒106-6121  
東京都港区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー 21 階  
TEL: 03-3796-5111  
FAX: 03-3796-4111  
<https://www.basf.com/jp>

追加コストを発生させることなく、最大 45%の軽量化と、減衰性能および耐腐食性の向上を実現しました。

また、エンジニアたちは BASF 独自の性能技術である ULTRASIM®を活用し、様々な材料が各走行条件においてどのように機能するのかを予測しました。

Hutchinson 社の事業開発部門バイスプレジデント、ローラン・フリエ氏は、「Hutchinson 社と BASF は協力しながらそれぞれの能力を活用して問題の解決にあたり、GM に優れたソリューションを提供することができました」と述べています。

北米のパフォーマンスマテリアルズ事業本部シャーシ部門、マーケットスペシャリストであるクリストファー・コルソンは、次のように述べています。「自動車業界は、コンポジット材料で軽量化を実現して NVH 絶縁性を向上させることに重点を置いています。自動車メーカーやサプライヤーは、金属ソリューションとコンポジット材料ソリューションの違いを理解し、金属製ソリューションとは異なるコンポジット材料の設計基準の分析、設定を行っています。」

SPE のオートモーティブ・イノベーション・アワードプログラムは、自動車業界、プラスチック業界において最大でかつ、最も歴史のあるコンテストです。自動車メーカー、各ティアのサプライヤー、ポリマー製造業者で構成される何十ものチームは、各自のパーツやシステム、あるいは完成車両モジュールがいかに関「その年の最も革新的なプラスチックの使用法」にふさわしいかを記述し、アワードに応募します。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

#### ■BASFのパフォーマンスマテリアルズ事業部について

BASFのパフォーマンスマテリアルズ事業本部は、材料のノウハウを一つに融合し、革新的でカスタマイズされたプラスチック関連製品とサービスを提供します。本事業部はトランスポーター、建築・建設、インダストリアルアプリケーション、消費財という4つの主要産業部門で世界的に事業を展開しており、強力な製品・サービスポートフォリオを備え、アプリケーション志向のシステムソリューションを深く理解しています。収益性と成長を促進させている主な要素は、お客様との緊密な連携と、明確なソリューション重視の姿勢です。研究開発の点でも高い能力を有しており、それが革新的な製品やアプリケーションを開発する基盤となっています。2016年、パフォーマンスマテリアルズ事業本部は、69億ユーロを達成しました。詳細に関しては、[www.performance-materials.basf.com](http://www.performance-materials.basf.com)をご覧ください。

#### ■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は世界をリードする化学会社(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)で、持続可能な将来のために、化学でいい関係をつくります。また、経済的な成功、環境保護、そして社会的責任を同時に実現しています。BASFでは、約114,000人の社員一人ひとりがほぼすべての産業、ほぼすべての国においてお客様の成功に貢献できるよう努めています。製品ポートフォリオは化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品、石油・ガスの5つの部門から成ります。2016年、BASFは約580億ユーロの売上高を達成しました。BASFの詳細情報は、[www.basf.com](http://www.basf.com)(英語)、[newsroom.basf.com](http://newsroom.basf.com)(英語)、[www.basf.com/jp](http://www.basf.com/jp)(日本語)をご覧ください。

BASF ジャパン株式会社  
住所: 〒106-6121  
東京都港区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21階  
TEL: 03-3796-5111  
FAX: 03-3796-4111  
<https://www.basf.com/jp>